

おはようが いえないよ

ゆりちゃんは、あいさつが にがて。

「おはよう ゆりちゃん。」

と だいすきな まきこせんせいに いわれても したを むいて
いってしまいます。

あるひ かえりのかが おわって、

ゆりちゃんは いそいで いえに かえりました。

おばあちゃんの いえに あそびに いくのです。

そのとき、 まきこせんせいが

「さよなら ゆりちゃん。」

と いってくれました。

ゆりちゃんも

「さようなら、せんせい」

と いいたかったのですが、やっぱり いえません。

いそいでいる ふりをして かえって しまいました。

すこし はしって せんせいのほうを みると、

いつもは えがおが いっぱいの まきこせんせいが

ちよつと かなしそうに たっていました。

そんなせんせいを みて ゆりちゃんも

こころが くもってしまいました。

すぐに たのしい おばあちゃんの いえに むかいます。

でも、ゆりちゃんは、ずっと まきこせんせいの

かなしそうな かおが わすれられませんでした。

つぎのひ、ゆりちゃんは ひとつ かんがえをきめて

がっこうへ いきました。

「まきこせんせい、おはようございます。」

おもいきって ゆりちゃんは いいました。

とても ちいさな 「おはよう」です。

きょうしつで みんなを まっていた まきこせんせいは

いつもより もっと もっと すてきな えがおで



「おはよう。ゆりちゃん。」

ゆりちゃんの あいさつ とっても うれしいよ。」

と 言ってくれました。

ゆりちゃんも えがおに なって こんどは

ちよつと おおきな こえで ともだちに

「おはよう。」

と 行ってみました。

「おはよう、ゆりちゃん。」

と みんなも いいます。

みんなの こえを きいて ゆりちゃんは

いつもより こころが はれていく きが しました。



(野村 宏行 作)

おはようが いえないよ

(低学年 2-(1))

(1) ねらい

自分から気持ちよいあいさつをしようとする心を育てる。

(2) 資料の特質

恥ずかしくて先生にあいさつができないゆりちゃんの物語である。学校でもよく見られる光景なので、児童も共感して考えやすいだろう。少しのきっかけ、勇気から、自分を変えていくゆりちゃんの前向きさを、児童にも感じ取らせていきたい。その上で、あいさつを進んでするなどの礼儀正しい態度が、他の人と気持ちよくかかわっていく際の基本となることを、丁寧に考えさせていくとよい。

(3) 展開例

- 1 あいさつには、どんな言葉があるか。
- 2 資料「おはようが いえないよ」を読んで話し合う。
 - ①先生にあいさつできないゆりちゃんはどんな気持ちか。
 - ・はずかしいな。
 - ②思い切って、先生にあいさつをしたとき、ゆりちゃんはどんなことを考えたか。
 - ・おはようが言えて、気持ちいいな。
 - ・先生、喜んでくれたかな。
 - ③「おはよう」で友達の笑顔が広がって、ゆりちゃんはどんなことを考えたか。
 - ・友達へのあいさつも楽しいな。
- 3 自分のあいさつについてふりかえる。
- 4 教師の説話を聞く。

(4) 指導上の留意点及び工夫

自己のふりかえりでは、生活の中でのあいさつを、多様に子どもたちは発表すると思われる。そこで、ただ発表するだけでなく、あいさつのよさを感じられるようにする。そのためには「どんな気持ちだった？」や「あいさつされると、どんな気持ち？」のようにあいさつをするときの気持ちを問う補助発問をすることが効果的である。

〔本文イラストは酒井桃華による〕